

# KeepPer が提供するテレビ番組

## 「RACING LABO

## SUPER GT+KYOJO」番組統括が語る

# 番組の魅力、レースの魅力

4月から新MCへの交代など、ますます面白くなる「RACING LABO SUPER GT + KYOJO」。番組のコンセプトや魅力をテレビ東京番組統括の井上貴司さんに聞きました。

### 「RACING LABO SUPER GT + KYOJO」の番組コンセプトは？

「クルマってカッコよくて面白い！」がコンセプトです。今日、移動手段としてのクルマという側面が強くなり、クルマに対する考え方は低燃費・安全性・静寂性などが重要視されています。利便性の追求も大切ですが、クルマの面白さも伝えたい。番組を通して子どもや若者に「レースって面白い！クルマってかっこいい！」と思ってもらえる番組にしたいと思っています。

それからもう一つ「レースの見せ方」に関するコンセプトがあります。それは「モータースポーツを深掘りする」です。モータースポーツもライブで体感してもらおうのがベストだとは思いますが、ライブでは把握しきれないことを独自のピット取材などで解明し、何が起きたかを視聴者に分かりやすく伝えていくことを大切にしています。また数時間におよぶレースを



25分間の中に凝縮するだけでなく、ライブ感も大切に、ドキドキできる構成も重要なポイントです。

### SUPER GT、KYOJOのレースの魅力は？

SUPER GTはGT500とGT300の混走による激しいバトルやサクセスウエイトによる年間を通じての戦い方、ピット戦略、タイヤ選びなどさまざまな作戦が入り乱れる複雑なチーム戦が魅力です。GT500はトヨタ・ホンダ・日産の3メーカーの戦い、GT300は日本メーカーと世界のスーパーカーがバトルするのもワクワクします。まさかの大逆転が起こることもあります。

一方KYOJO CUPは、マシンもタイヤも同じものを使っているイコールコンディションなので、各女性ドライバーの実力と経験値が如実に結果に現れます。レース時間も短いですし、一つの小さなミスが大きく順位を下げてし



テレビ東京番組統括の井上貴司さん

もう緊張感あるレースが魅力です。番組制作にあたり、大切にしていることは？

番組を初めて見た人でも理解できる内容にすることです。地上波テレビではそれまでレースに触れてこなかった方が視聴する可能性があります。レースに興味なかった方々にレースを好きになってもらえるチャンスを届けられたらと考えています。もちろん、ファンの方、レースをサーキットやライブ配信などで見ていた方にも発見がある内容を心がけています。

### 今後の見どころは？

レースはシーズンごとに変化していくものです。ドライバーの成長、マシンの進化など追い続けることで見えてくる楽しさがあります。SUPER GTもKYOJOもニューフェイスが現れますし、SUPER GTに関してはGT500クラスでホンダのニューマシン・プレリウドがデビューします。新しいドライバーやマシンがどんな化学変化を起こすのが今シーズンの注目ポイントだと思っています。また今年は、GTトップドライバーが参戦するインタープロトシリーズも取り上げていきます。

# KeepPer が提供するTV番組

レース好きも、レース初心者も楽しめる!!

## 「RACING LABO SUPER GT + KYOJO」

毎週土曜日24時から  
テレ東系列で全国放送中

TVerで

毎回見逃し配信中!  
(番組放送後から1週間)



4月はSUPER GT開幕に合わせてSUPER GTを中心に取り上げていき5月以降もKYOJOやインタープロトなどレースの開幕に合わせて番組で取り上げていきます!

## SUPER GT2026参戦車両 「SUBARU BRZ GT300」公開シェイクダウンレポート



2月24日(火)にSUBARU BRZ GT300 61号車が富士スピードウェイにてシェイクダウン走行を行いました。シェイクダウンとは、新しく製作・改良された車両を実戦前に初めて走らせるテスト走行のことです。慎重に周回を重ねながら、各部の動作確認とデータ収集が行われました。

イベントでは、小澤総監督によるマシンの解説のほか、ドライバーと共にバスに乗り、間近を走る61号車の迫力を体感できる「サーキットサファリ」も実施されました。観光バスのすぐ横を駆け抜ける瞬間は圧巻で、大いに盛り上がりました。

今季最大の変化は、長年使用してきたEJ20型(2,000cc)からEG33型(3,000cc)への載せ替えです。水平対向4気筒から6気筒へと進化したパワーユニットは、より力強く、安定感のある特性を備えています。

小澤総監督は、2026年の参戦目標として「毎戦で確実にポイントを重ね、シリーズチャンピオンの獲得」、「シーズン1勝以上、表彰台3回以上を獲得」、「最後までシリーズ優勝争いに絡み、ファンを沸かせ続ける」という3つを掲げ、力強い意気込みを語りました。

2026年の開幕戦は4月11日(土)、12日(日)に岡山国際サーキットにて開催されます。新しいエンジンを搭載した61号車への期待が高まります。

## 新車用ボディコーティング 「SUBARU EX KeepPer」を SUBARU販売店で取扱いを開始しています

KeepPer技研(株)とスバル用品(株)は、SUBARUとKeepPerのダブルネームによる新車用ボディコーティング「SUBARU EX KeepPer」を商品化し、全国SUBARU販売店にて取り扱いを開始しています。

# SUBARU EX KeepPer

### 商品概要

- ボディに加え、ホイールおよびヘッドランプを施工するコーティングです。
- 6年間光沢保証  
※ホイール、ヘッドランプコーティングは1年保証
- スバル新車納車整備センターのコーティング施工者への技術修得制度を独自に導入し、どの取り扱い店舗においても、同レベルの高い仕上がり品質を確保します。

本製品は、新車用ボディコーティング「SUBARU WダイヤモンドKeepPer」および既販車・中古車向けボディコーティング「SUBARU ダイヤモンドKeepPer」、「SUBARU フレッシュキーパー」に加え、新車用のボディコーティングとして新たにラインアップされています。